

令和 8 年 6 月 3 0 日
小平市総合教育会議資料

テーマ

「こどもの育ちや学びをつなぐ架け橋期の幼保小連携」

小平市における取組状況

小平市立小学校と幼稚園・保育園における連携の好事例

専門的交流

- 大学附属幼稚園との専門的な共同研究

体験・参加型プログラム

- まつり招待やお店屋さんごっこ等の交流
- プレ1年生体験教室による不安解消

施設の日常的活用

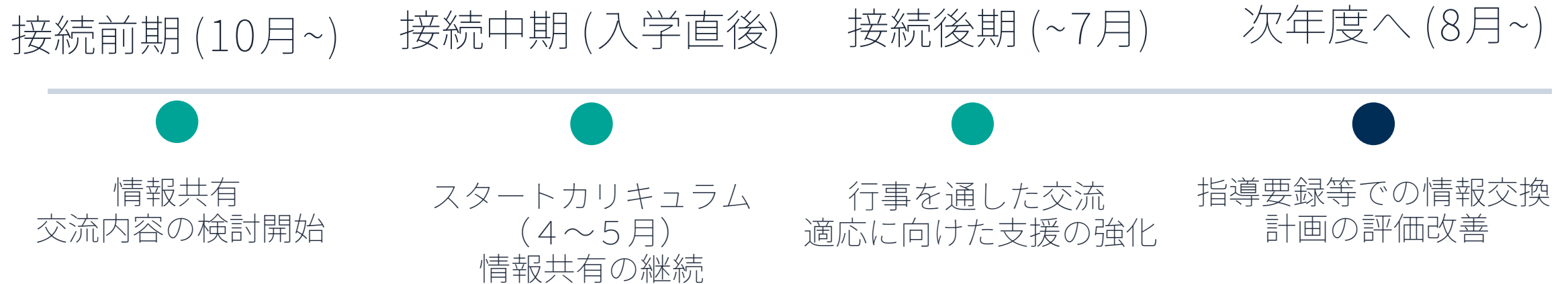
- 学校施設の積極的な貸出による日常的来校
- 校庭・体育館見学の実施

多世代交流, 広範囲連携

- 4年生との校庭での遊びなど、多学年で幼児を歓迎
- 1校で複数園と連携（最大7園）

小平市における取組状況

時期に応じた連携と引継ぎルート



引継ぎの3ルート：① 書類送付（要録等） ② 担任間電話連絡 ③ 園・学校訪問

小平市における取組状況

障がいのある子どもへの支援体制

「切れ目のない支援」を実現する引継ぎ手法



就学前からの専門的な視点による支援

就学相談に円滑につなげるための医療と連携した取組



こげら就学支援シートの積極的な活用

学校生活支援シート（個別の教育支援計画）や個別指導計画のベースとなる情報の確実な引継ぎ



希望する保護者・本人との事前面談・体験

特別支援学級の見学や面談による心理的不安の解消



教員及び保育士同士の引継ぎ

書類送付だけでなく、訪問等による丁寧な実態把握

小平市における取組状況

連携の工夫と課題

連携の工夫

複数園同時交流

園同士で日程調整を依頼し、交流を合同で実施
児童主体の取組

児童が自ら幼児のための交流を計画

保護者の協力

保護者が幼児と共に学校を見学・体験

朝の緩やかな設定

登校後（4～5月）の時間をゆっくり過ごし、
学校への適応を支援

推進上の課題

日程調整等

連携先が多数あることによる日程調整・時間
確保の困難さ

引継ぎの効率化

入学前の情報の効率的な収集・共有の方法

体制の持続性

持続可能な連携体制の構築